



県民せいきょうは「認知症バリアフリー宣言」を行いました！

拡がる 認知症バリアフリー社会



認知症になっても住み慣れた地域で安心して住み続けられるよう、生活のあらゆる場面で障壁（バリア）を減らしていく取り組みを行う企業として、県民せいきょうは2025年7月に「認知症バリアフリー宣言」を行いました。

日本認知症官民協議会事務局が進める「認知症バリアフリー宣言」とは、企業や団体が認知症バリアフリーに取り組むことを発信しその行動を通じて、認知症の人やその家族にとって安心して店舗やサービス、商品を選び、利用できる環境が提供されていくことを推進する宣言です。またこのような企業、団体が増えることをきっかけとして「認知症バリアフリー社会」を積極的により多くの方に認識してもらい、地域に大きく広がっていくことが、バリアフリーを宣言する目的のひとつとなっています。

認知症バリアフリーの推進に必要な4つの宣言基準に従い、わたしたちは以下の活動を行っています。

①人材の育成

認知症の人やその家族を見守る応援者として、また安心して生協を利用いただけるよう「認知症サポーター」を養成しています。

②地域との連携

行政、社会福祉協議会、NPO、他企業、当事者など地域の実情に合わせた連携を進めています。

（行政との地域見守り協定・包括連携協定の締結、認知症フレンドリー社会実現に向けた取り組み）

③職員をサポートする社内制度

介護をしている職員に対して「介護休暇制度」、「介護短時間制度」、「介護休業制度」を設けています。また各事業所に労務

相談員を配置し、介護も含めた悩みや相談に応じています。

④みなさんが利用しやすい環境に整備

高齢者のコミュニティ・社会参画の場づくりや、誰もが安心して自分らしく暮らし続けることができる地域づくりに貢献する取り組みを進めています。

（組合員による自主自発的なふれあいサロン・大人食堂の運営、有償ボランティア活動、店舗では、ゆつくりレジ・あったかサポーターの配置、県下全域で展開している宅配・食事宅配・店舗・移動店舗・お買物バスなど、行政と連携した見守り活動の実施、地域密着型サービスなど「くらしの安心」ニーズに応えた福祉事業の展開）

県民せいきょうは、「食の安全とくらしの安心で組合員と地域へのお役立ち」を使命としています。
認知症の人やそのご家族が安心して自分らしく暮らし続けることのできる認知症バリアフリー社会の実現に向け、これからも継続的に取り組んでいきます。

「認知症サポーター養成講座」出前 無料で承ります

1人でも多くの方が認知症を正しく理解することで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりをめざした講座です。ご希望の日時・場所に講師（キャラバンメイト）を派遣します。みなさんも「認知症サポーター」にチャレンジしてみませんか？

開催時間 90分

対象 自治会活動、職場、学校
サークル、グループなど

お問い合わせ
コールセンター
(19ページ)

参考：日本認知症官民協議会事務局「認知症バリアフリー宣言ポータル」
<https://ninchisho-barrierfree.jp/>

Profile 県民せいきょう
福祉事業部

受付時間／月～金 9:00～17:00（祝日含む）
TEL.0776-52-8466

高齢者介護
きらめき

ホームページ

